様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和8年6月29日

群馬県知事 山本一太　殿

提出者　　〒560-0036
住　所　大阪府豊中市蛍池西町２丁目７番２６号
氏　名　株式会社　日本電気化学工業所
　　代表取締役　倉智　真平

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　0276-62-9711

群馬県 東部環境事務所 -8.6.29 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　日本電気化学工業所　関東工場
事業場の所在地	群馬県邑楽郡大泉町吉田1210-2
計画期間	令和８年４月１日　から　令和９年３月３１日　まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	24-金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額　５４，０００万
③従業員数	４９人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙２

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和７年度）実績】　別紙３		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 工法の改善（強酸・強アルカリ）を実施。		
②計画	【目標】　別紙４		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記同様に今後も抑制を継続実施。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃液タンクを分別し、他の廃棄物が混入しないように保管。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記同様に今後も分別を継続実施。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和７年度）実績】　別紙３		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
	②計画	【目標】　別紙４		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和７年度）実績】　別紙３		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
	②計画	【目標】　別紙４		
		特別管理産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施予定なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】　別紙３

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
特に実施していない。

②計画

【目標】　別紙４

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
実施予定なし。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】　別紙３

特別管理産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。
再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託。

	②計画	【目標】		別紙４
		特別管理産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 また、再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。		
※事務処理欄				

別紙1

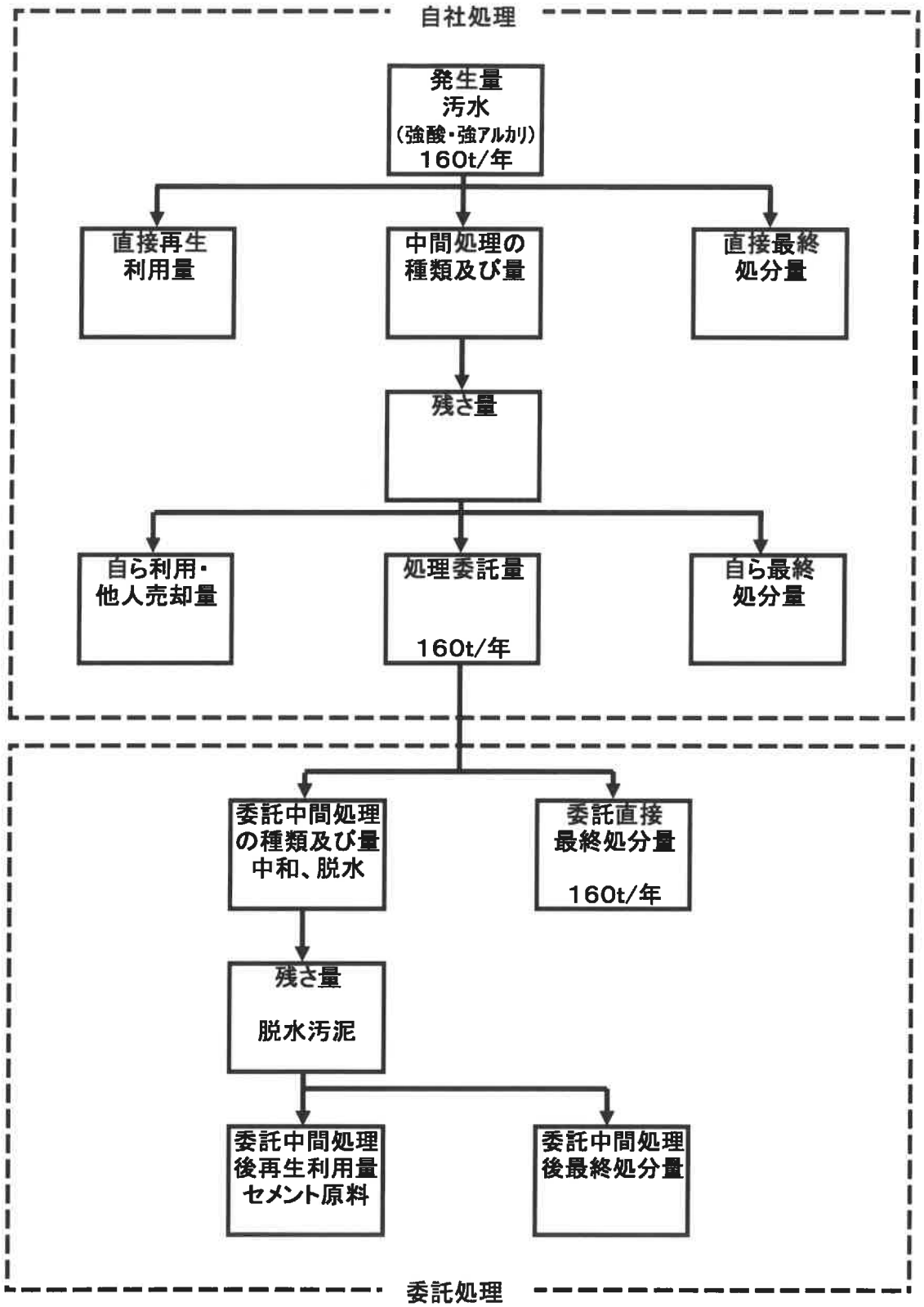
特別産業廃棄物の種類別発生・処理工程

廃棄物の種類		発生源（加工フローシートNo）	性状	処理方法 ○社内処理 ●委託処理
汚水	強酸	①	液状	●中和→●脱水→●再利用
	強アルカリ（苛性ソーダ廃液）	①	液状	●中和→●脱水→●再利用

別紙1－1

廃棄物処理フローシート

① 汚水

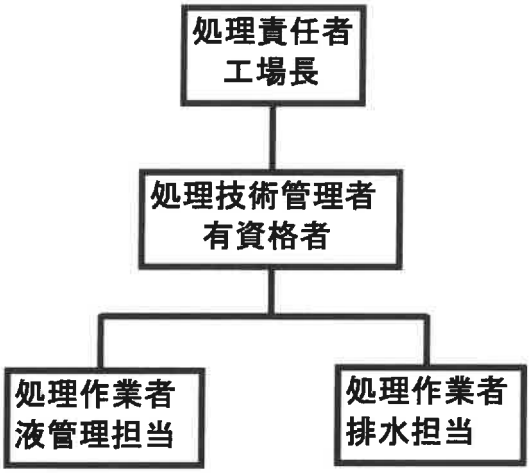


別紙2

特別産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（1）当工場で発生する廃棄物の処理及び、管理に関する事項は次に定める。
特別産業廃棄物処理手順書　別紙参照

（2）廃棄物管理組織



別紙3

令和7年度実績　特別産業廃棄物実績表

		発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理	⑤熱回収量	⑥自己中間処理残さ量	⑦自己中間処理により減量した量	⑧自己中間処理後再生利用量	⑨自己中間処理後直接埋立又は海洋投入量	⑩直接及び自己中間処理した後の処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者へ委託量
汚水	強酸	60	152	0	0	0	0	0	0	0	0	152	152	0	0	0
	強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	60	152	0	0	0	0	0	0	0	0	152	152	0	0	0

別紙4

令和8年度計画 特別産業廃棄物計画表

		発生量の目標	①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理	⑤熱回収量	⑥自己中間処理残さ量	⑦自己中間処理により減量した量	⑧自己中間処理後再生利用量	⑨自己中間処理後直接埋立又は海洋投入量	⑩直接及び自己中間処理した後の処理委託量	⑪優良認定処理業者への処理委託量	⑫再生利用業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者への処理委託量	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者へ委託量
汚水	強酸	160	160	0	0	0	0	0	0	0	0	160	160	0	0	0
	強アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	160	160	0	0	0	0	0	0	0	0	160	160	0	0	0
計		160	160	0	0	0	0	0	0	0	0	160	160	0	0	0